



第62回

学藝員のススメ

博物館の学芸員が、あれこれ語り倒すコーナー。



小さな土偶 「おおきどくん」

佐藤 健二

あつぎ郷土博物館で開催中の特別展「ドグウ集まれ!」の展示史料の中から、山梨県の大木戸遺跡から出土した土偶を紹介します。

高さ約5.3センチと小さく、手の表現は省略されています。顔にはヘラ状の工具の刺突で小さな目と口が描かれ、目の上にはうっすらと眉の表現があります。なんともユーモラスな表情で、「おおきどくん」という愛称で親しまれています。

土偶は縄文時代の人々が祈り



大木戸遺跡出土土偶
山梨県立考古博物館所蔵

を込めた道具と考えられていますが、制作者がどのような気持ちで作り、どんな祈りを込めていたのか、想像してみるのも楽しいのではないのでしょうか。

展示は12月8日までです。ぜひ郷土博物館に足を運んでみてください。



展示会の詳細
はこちら